



あかまつ

豊岡小学校

校長室だより NO.46

R2.12.11

3年生 手洗い教室

4日(金)5時間目、3年生が「手洗い教室」で手洗いの大切さを学びました。

これは、大仙市保健所と大曲食品衛生協会による、「手洗いの大切さに気づき、手洗いの習慣への意識を高める」「正しい手洗いの方法を理解する」ことが目的の事業です。

まず最初に、手洗いの大切さを学び、手洗いの仕方を「となりのトトロ」の替え歌で確かめ、「手洗いマイスター」になるための手洗いを行いました。



手を洗う前に、まずは一人一人の手の汚れを、最新の検査機器を使って検査しました。本校の子どもたちは、年度当初に正しい手洗いの仕方を学び、実践し、しかも毎朝、登校後に、伸子先生から厳しくも優しい手洗いチェックを受けています。ですから、全員が比較的、汚れの少ない手をしていました。そして、手洗いをした後に、再び汚れの検査を受け、手洗いの効果と大切さを体験しました。また、ブラックライトを使って、どの部分の洗い残しが多いのかも体験しました。

指導員の方々からは「今日、学校で学んだことを生かし、各家庭で手洗い先生となって、手洗いの大切さ、正しい手洗いの仕方を広めてください。」とお話していただきました。がんばりましょう！



【手洗いの仕方を学ぶ】

【手の汚れチェック】



【手を洗ってみましょう】【手洗いチャンピオン！】

須田アドバイザー 来校

8日(火)2時間目、大仙市教育委員会の教育アドバイザー、須田先生が本校を訪れ、3年生の外国語活動の授業を参観し、その後、担任の先生と情報交換を行いました。

授業にはALTのクリス先生も参加し、子どもたちは様々な表現を学び、実際の生活の場面を想定しながら、意欲をもって英語を勉強しました。間違いをこわがらず、笑顔で楽しそうに英語を話す子どもたちの姿に感心しました。

大人になっても、自分から英語で話しかけ、笑顔で楽しそうに会話している姿を見たいですね。



【授業の様子 お店で買い物の体験中です】

指導主事訪問 道徳

9日(水)2時間目、6年生で道徳の指導主事訪問がありました。他校からも2名(小学校1名、中学校1名)の先生たちが参加してくれました。

6年生の授業は「相互理解、寛容」をテーマに、資料を基に、話し合いが行われました。参観した人からは、「どんどん話せる6年生」「つないで話せる6年生」「妥協しないで追求する6年生」「話を聞きながらメモできる6年生」「自由に意見を言い合える6年生」など、多くのおほめの言葉をいただきました。「中仙中学校に行っても、遠慮しないで、その素晴らしさを発揮してほしい。」という声もありました。

もちろん、子どもたちの意見をどんどん引き出す、担任の先生の発問や問い返しの巧みさにも、多くのおほめの言葉をいただきました。ありがとうございました。

道徳の授業は「自分と向き合う時間」とも言われます。普段の生活の中で、「わかっているけれども、できないこと」が、たくさんあります。また、「よくないことをしている人に注意して、逆ギレされてケガをさせられた」事件もよく耳にします。



「何が正しいのか」の答えが、人それぞれで異なる場合もあります。そんな社会の中で、迷い、考えながら、よりよい答えを見つけ、実践できる大人になるためにも、道徳の時間に自分の考えを友だちに聞いてもらい、友だちの考えも聞き、自分の弱さや強さに向き合いながら、考えを深めてほしいと思っています。そのために、先生たちも、がんばります。



【授業参観の様子】

おもちゃフェスティバル

10日(木)2時間目、豊川小学校の体育館で、1・2年生が中仙東保育園の年長さんを招待して「おもちゃフェスティバル」が行われました。

それぞれの小学校で、この日のために学習を重ね、アイデアを生かし、改良を加えたおもちゃを準備して、交流を深めました。

子どもたちが準備したおもちゃで遊べるお店が全部で17店。豊川小に来てくれた中仙東保育園の年長さんは15人。…ここから、激しいお客さんの呼び込み競争が始まりました。「いらっしやいませ〜！」「遊びに〜来てくださ〜い！」と、あちこちから声が聞こえますが、何せ、お客さんが少ないため、なかなか自分のお店に来てくれなくて…と、ここでチャイムが鳴り、休み時間！ドドッと、豊川小学校の他の学年の子どもたちが遊びに来てくれました。ありがとうございました！

自分たちが作ったおもちゃで、笑顔で、楽しそうに遊んでくれるみんなの姿を見て、子どもたちの満足度も大いに高まりました。今日までの準備、本当にお疲れさまでした！



【お客さん、来て〜！】【たくさん来てくれました】



【園長先生と一緒に】【1年生から種のプレゼント】

地域子ども会

11日(金)岡小タイム、冬休みを2週間後にひかえ、充実した安全な生活を送ることができるように、地域子ども会を開きました。

夏休み明けからの集団登校の反省、あいさつや下校の仕方、地域行事や危険箇所の確認、冬の登下校についての確認などを行いました。



【地域子ども会の様子】

冬の安全な登下校のために

来週から、本格的な雪となる予報です。

本校では、子どもたちの安全のために、**雪の日は傘を使用しない**ように呼びかけていますので、どうか、ご協力、よろしくお願ひします。傘を使わない理由です。

- ①雪が降ったことで道幅が狭くなり、また、滑って転んだり、車がスリップしやすくなったりと、登下校時の危険度が高まっていること。(滑って転んでいる子どもがたくさんいます！)
- ②かさの使用により、視界が狭くなったり音が聞こえにくくなったりすること。
- ③防寒具を身に付けているため、かさを使わなくても体がぬれにくい状況にあること。
- ④危険を避けるなど、いざという時のために、両手を使える状態で登下校させたいこと。
- ⑤冬型の気圧配置が多くなり、強い風が吹きやすい気象状況下にあること。
- ⑥近隣の学校でも、子どもたちの安全のためにかさを使用しないよう呼びかけていること。



…などがあげられます。

もちろん、雨や雨雪など、防寒具では体がぬれてしまう場合はかさを使用してください。

ぬれた防寒具は、下校時まで乾くよう学校側で配慮しますので、どうか、子どもたちの安全のため、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

